

あかつかやま

2026年1月 No.118



ミライとカケルとマテバシイ（馬刀葉椎）

CONTENTS

● 特	集	水生生物調査 in プレーパーク	杉浦 篤史	2
● 付	録	発見! あかつかやま		4
● 報	告	赤塚山公園体験記		5
● イベント		みんなの笑顔写真展・梅まつり		6

水生生物調査 in プレーパーク

赤塚山公園では2019年から新城市千郷地区で行われている「ちさとプレーパーク」の水生生物調査の講師をつとめています。今回はこのプレーパークで行っている水生生物調査について紹介します。

プレーパークって何？

冒頭、プレーパークって何？って思われた方も多いと思います。プレーパークとは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした、子どもが主役の遊び場のことです。プレーパークにはブランコやジャングルジムのような決まった遊具はありません。水遊びをしたり、土を掘ったり、火を起こして焚き火をしたり、段ボールでソリをしたりと、子どもたちの発想次第で遊び方がどんどん広がります（写真.1,2）。見守るのは、プレイワーカーと呼ばれる大人たち。危ないことも、失敗も、子ども自身の成長につながる大切な経験として、そっと寄り添いながら見守ります。こうした「自分で考えてやってみる」遊びの場は、千郷地域子育て連絡協議会の協力によって支えられています。

調査の概要

「ちさとプレーパーク」の会場は主に学区の神社です。その境内の中で様々な遊びをするのですが、その中の一つとして、会場近くを流れる豊川支流の杉川や臼子川で「水生生物調査」を行っています（写真.3,4）。

毎回、午前と午後の2回開催しており、おおまかな流れとしては、子どもたちはタモ網やバケツを手に、川へ入ります。低学年の子は保護者と一緒に、3年生以上の参加者は



写真.1 プレーパークの様子 その1



写真.2 プレーパークの様子 その2



写真.3 水生生物調査の様子 その1 (杉川)



写真.4 水生生物調査の様子 その2 (臼子川)



写真.5 注意事項と生き物の捕り方の説明

我々や、協働でお手伝いをしている新城設楽生態系ネットワークのみなさん、協賛企業でもある横浜ゴム新城工場のみなさんと一緒に、楽しく採集を行います。30分ほどの採集のあとは陸に上がって捕れた生き物の観察と解説を行います。この部分の講師を主に赤塚山公園が担当しています（写真.5～8）。近年、身近な自然で自由に遊ぶ機会は減っていますが、こうした体験は、子どもたちの中に「自然っておもしろい」「また来たい」という気持ちを芽生えさせます。遊びの中での体験は、環境教育の出発点でもあります。プレーパークでの「遊び」と「学び」の中で、子どもたちは楽しみながら自然の大切さに気づいてくれたらと考えます。

地域の自然史記録として

また、この活動は単なる遊びに留まりません。記録を残すことで、地域の自然の変化を知る「自然史の記録」にもなります。継続的に調査することでデータを比較できれば、長い目で環境の変化を追う手がかりにもなります。

今回は参考までに2021年から行っている臼子川での調査記録を掲載します（表.1）。臼子川は両岸がコンクリートで固められた一見単調な川ですが、水際には草が生い茂り、流れの緩む場所には小魚や水生昆虫の姿が見られます。このように、人の手が入った環境の中でも豊かな生き物たちが暮らし、絶滅危惧種も確認されるなど、多様性を保っています。ただし、機関誌あつかやま101号の特集「第3の外来種」でお伝えしたように、2022年にはミナミメダカの人工改良品種であるヒメダカが確認されたり、また本年度では、この川では国内外来種の扱いであるギギが初確認されたりしています。このように、地道な活動が身近な外来種の記録にもつなが

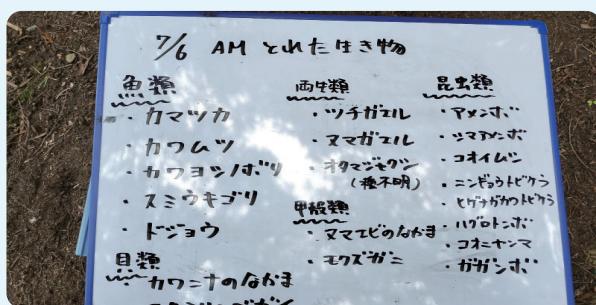


写真.6 ある日の採集生物一覧（会場にて掲示）



写真.7 生き物解説のためのテント（夏開催）



写真.8 職員による生き物の観察と解説

確認種	年	2021	2022	2023	2025	備考
アブラハヤ	○					
カワムツ	○	○	○			
カワヤツメ属の一種	○	○	○			絶滅危惧II類
カワヨシノボリ	○	○	○	○		
ギギ				○		外来種（国内外来種）
タカハヤ		○	○	○		
タモロコ	○	○		○		
トジョウ	○	○	○			準絶滅危惧
ニシシマドジョウ	○	○	○	○		
ホトケドジョウ	○	○	○	○		絶滅危惧IB類
ミナミメダカ	○	○	○			絶滅危惧II類
ヒメダカ		○				外来種（人工改良品種）

表.1 確認魚種（2021～2025年：臼子川）

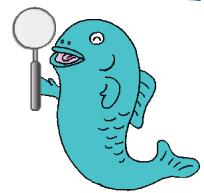
※2024年は実施無し

っています。また今後も調査を継続することで、絶滅危惧種や外来種の動向をモニタリングする役割も果たしていかなければと考えます。

赤塚山公園では、これからも地域の人たちと一緒に、遊びながら学び、記録として未来へつなげる取り組みを続けていきます。

学芸員 杉浦篤史

発見！あかつかやま



アニアニまる編 ~ふゆの かんさつ~

さむいふゆ どうぶつたちは どんなすごしかたを しているかな?
かんさつして え や ぶんしようを かいてみよう。
(れいを さんこうにしてね)

みんなはどうかな?

れい) あたたかい ふくを きる



どうぶつたちは どうかな?

れい) あたたかい け になる



れい) よりそう



かんさつを するときは あたたかい ふくそうをしよう！



赤塚山公園体験記

9月から12月に職場体験をした6名の中学生のみなさんが、赤塚山公園での体験をふり返り、感想を残してくれました。その声をご紹介します。

豊川市立東部中学校2年生 松井 優奈さん

(体験日: 9月10-12日)

今回職場体験をさせていただき、働くことの大変さや仕事のやりがいを考え、学ぶことができました。飼育員の方々は一匹一匹細やかに気配りをしていて、改めて命の重みを深く考えるきっかけになりました。とても良い経験でした。



豊川市立代田中学校2年生 加藤 遥紀さん

(体験日: 10月16.17日)

自分は赤塚山公園のアニアニまるで職場体験をさせていただきました。飼育はたんなる作業ではなくしっかり動物たちの気持ちや体調などをよく考え、過ごしやすい環境を作っていることがよく分かりました。さまざまな工夫や努力をしていることがよく伝わりました。



豊川市立一宮中学校2年生 正木 吹依さん

(体験日: 10月27.29日)

ぎよぎよランドでの職場体験では、魚の種類によって餌の形やあげ方を工夫していたことが印象的でした。スタッフの方は生き物にはもちろん、お客様に対しても丁寧に接していて、みんなが心地よく過ごせるようにしている姿が素敵だと思いました。



豊川市立西部中学校2年生 中山 結太さん

(体験日: 11月27.28日)

職場体験でぎよぎよランドとアニアニまるで実習をさせていただきました。飼育員さんたちは似ているようながらのモルモットやヤギでもちゃんとどの子がどの子か分かるだけでなく、その子たちの特徴や体質みたいなのまで分かっていてすごいなと実感しました。

豊川市立御津中学校2年生 岩堀 朱里さん

(体験日: 12月3-5日)

アニアニまるでは、馬とヤギのお世話をさせていただきました。カケルとミライは散歩がとても好きでした。ヤギ達の小屋の掃除が大変でした。魚たちはいろんな種類がいて、デメキンがかわいかったです。飼っているペットにももっとつくしたいと思いました。



豊川市立音羽中学校2年生 神谷 直希さん

(体験日: 12月11.12日)

僕はぎよぎよランドのバックヤードで2日間職場体験をさせていただきました。きれいに水槽の掃除ができたり、水かえのやり方を知れたり、楽しかったです。僕の家でも魚を飼っている水槽があるので、学んだ知識を使い魚が長生きできるようにしたいです。



2/13(金)～3/16(月)



「みんなの笑顔写真展」

1月12日(月)に開催した「みんなの笑顔写真撮影会」で、株式会社イトコー加藤誠也さんが撮影したみなさんの最高の笑顔を展示します。
場所は、ぎょぎょランド2階ロビーです。

2/15(日)～3/15(日)



「梅まつり」

25品種 273本の梅の木が植えられており、例年2月中旬が見頃となります。なお、開花状況は期間中、ホームページ等でお知らせします。
※開花状況により、期間を変更する場合があります。

行事・イベントの報告

令和7(2025)年9月～11月

9/1	豊川調査(豊橋市)	10/20	展示生物採集 (設楽町)
9/3	豊川市立長沢小学校 4年生 出前授業 生き物調査 (音羽川)	15人	10/23 上流水槽展示魚 (アマゴ・ニジマス・ニッコウイワナ) 搬入
9/8	展示生物採集 (豊橋市)		10/24 豊川市立長沢小学校 4年生 ガイド&レクチャー 14人
9/10-12	豊川市立東部中学校 2年生 職場体験 1人		10/24 豊田市 わかばこども園 コイのエサやり体験 62人
9/12	豊川市立萩小学校 4年生 出前授業 生き物調査 (山陰川)	7人	10/24-26秋のぎよ長の水族館 1,182人
9/17	ヤギ・ニワトリ・アヒル サンテパルクたはらより搬入		10/27 展示生物採集 (新城市)
9/26	豊川市立萩小学校 4年生 出前授業 生き物調査 (室川)	7人	10/27,29 豊川市立一宮中学校 2年生 職場体験 1人
9/28	第42回赤塚山公園自然観察会 「キノコの観察」	20人	10/29 豊川市立千両小学校 1・2年生 モルモットのふれあい 28人
10/1	豊川市立代田小学校 4年生 出前授業 ウサギのふれあいと命のお話 82人		10/31 西明寺幼稚園 年少 コイのエサやり体験 80人
10/1	特別展示「ネコギギ」(11/3まで)		11/10 豊川調査 (新城市)
10/2	愛知県立豊川特別支援学校 小学部2年生 ヤギのエサやり体験	21人	11/13 豊川市立長沢小学校 4年生 出前授業 モルモットのふれあいと命のお話 14人
10/3	愛知県立豊橋特別支援学校 中学部1年生 ヤギのエサやり体験	7人	11/27,28 豊川市立西部中学校 2年生 職場体験 1人
10/5	渡辺いつけいさん 一日警察署長		11/30 サンテパルクたはら サンテマルシェ「出張ぎよぎよランド」出展 新城設楽生態系ネットワークフォーラム 職員派遣 (講演)
10/6	豊川調査(豊川市・豊橋市)		
10/10	豊川市立中部小学校 特別支援学級 出前授業 モルモットのふれあい・仕事のお話 33人		
10/16,17	豊川市立代田中学校 2年生 職場体験 1人		
10/18,19	豊川市小中学校作品展		



動物取扱業に関する表示

氏名又は名称:豊川市長 竹本幸夫 登録番号:動東第119号
事業所の名称:豊川市赤塚山公園 登録年月日:平成18年9月28日
事業所の所在地:愛知県豊川市市田町東堤上1番地30
有効期間の末日:令和8年9月27日
動物取扱業の種別:展示
動物取扱責任者:前田 民男

編集・発行

あかつかやま No. 118 2026/1/15

豊川市赤塚山公園

〒442-0862 豊川市市田町東堤上1番地30

TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

機関誌「あかつかやま」は本年度から季刊誌となりました。次号は4月15日発行です。